

地域貢献と大学院進学の勧め

情報科学研究科システム工学専攻

博士前期課程2年

對馬 理向

自己紹介

1

名前: 對馬 理向 (つしま りこ)

出身: 広島市

学年: 大学院修士2年生

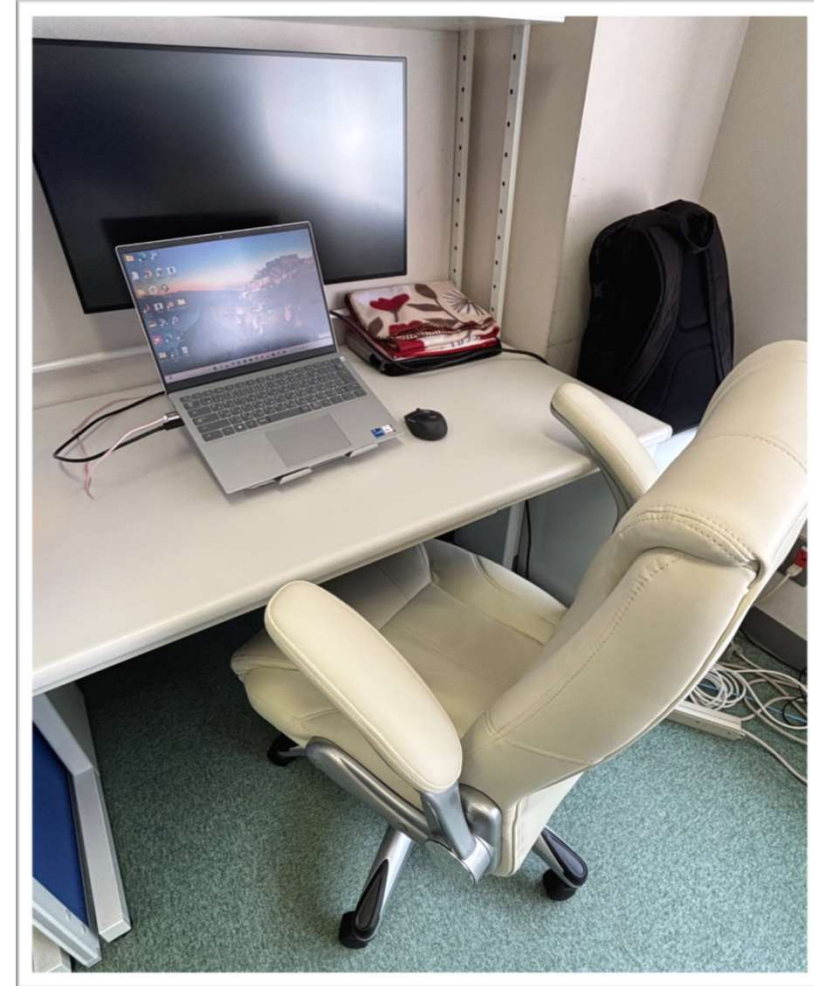
専攻: システム工学専攻

指導教員: マークカストナーアウレル(広島市立大学)、
満上育久(立命館大学)、原田翔太(九州大学)

研究内容: 画像生成AIによる顔表情映像の生成

これまでの取り組み:

- 市大生チャレンジ事業
- サンフランシスコ交流プログラム
- 早期卒業(学部を3年で卒業)
- 教職課程(情報、数学)
- 学会発表
- 就職活動



市大生チャレンジ事業

- 学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動
- 学生の豊かな人間性を育み、自主性や問題解決能力を養成することを目的として、大学が補助金を交付

2024年度 市大生チャレンジ採択

紙芝居における耳が不自由な人や外国人向けのユニバーサル字幕表示システム

- 背景：耳の不自由な方や海外の方は紙芝居に馴染みづらい
- 目的：「感情が伝わる、みんなに優しい紙芝居」で、多様な人々に楽しんでもらえるようにする
- 実装したシステム：リアルタイムの音声認識・字幕表示

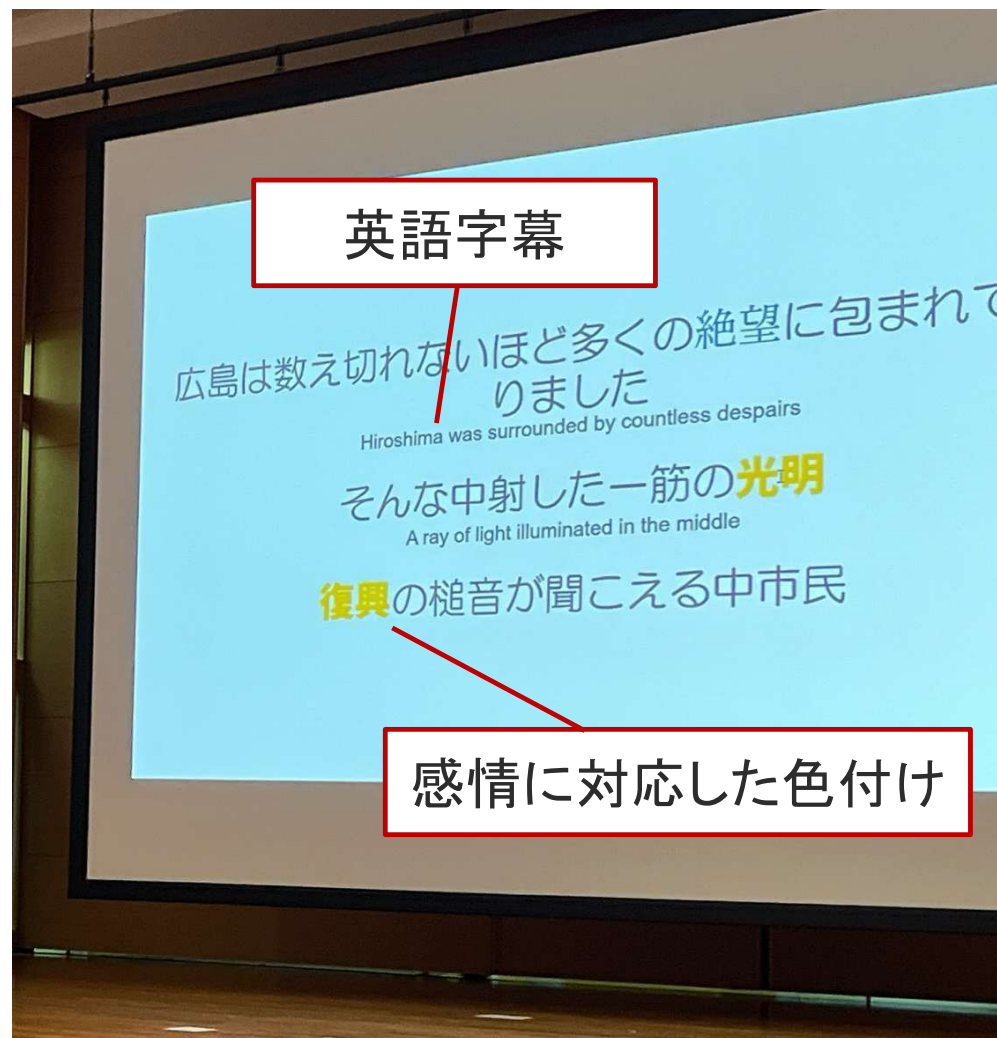
英語字幕表示

話者の感情を色付けした字幕表示



- 大学、公民館で紙芝居イベントを開催
- 学生・教職員・地域の方に体験してもらった

ひろしま紙芝居村の阿部さん



市大生チャレンジ事業に参加して感じたこと

- ◆ 様々な地域の方・大学の教職員の方と関わることで、私たちのチャレンジを応援・協力してくださる方がたくさんいる
➡「新しいことにチャレンジしてみたい」、
「コミュニティを広げたい」という学生にピッタリ
- ◆ 色々な面から広島を盛り上げようとしている方がいる
➡地域共創センターでは、地元広島に関わるプロジェクトが用意されている！
広島や地域交流に興味がある学生にオススメ



大学院進学 サンフランシスコ交流プログラム

5

2024年3月(学部卒業と大学院入学の間の春休み) サンフランシスコに一週間ホームステイ

- ・ 国際交流推進センターのプログラム、アメリカの大学生と交流
- ・ 学部生・院生が対象(他の国もある)
- ・ 超短期なので、研究活動との両立が気になる方・初めての海外留学の方でも参加しやすい



大学院進学 サンフランシスコ交流プログラム

6

- 学部時代は授業・卒業研究・教職課程で手一杯だったため、進学を機に参加
- 現地の学生だけでなく、国際学部や芸術学部の学生と仲良くなれる
- たった一週間でも、文化や価値観の違いに触れることができ、英語の練習にもなる
- 就職活動で留学経験を問われた時にも、一応答えられる



学部で取得可能

高校教諭第一種免許状(情報、数学)

大学院で取得可能

高校教諭専修免許状(情報、数学)

- 専修免許は、より高度な専門知識やスキルの証明になる
- 一種免許状の取得(学部時代)には多量の追加講義を受講する必要があったが、
専修免許(大学院)はほとんど追加講義が無い
➡学部時代よりも研究活動との両立がしやすい

➤ 学会発表

- 国内学会ポスター発表(東京)
- 国内学会口頭発表(広島)
- 国際学会口頭発表(京都)
- 先輩の研究ポスターを発表(熊本)

➤ 出張

- 立命館大学
- 展示会(東京)

- 研究活動を通じて他大学の学生や研究者と関わる機会がある
➡学内にとらわれない、広い視野を持つことができた
- 自分の研究内容を、分かりやすくかつ魅力的にプレゼンする訓練
➡就職活動や今後の人生に役立つ

- 県外の機械メーカーに内々定
- 就職活動時期：2024年3月～2025年3月
- 選考参加企業：メーカー10社(合格3、不合格3、途中辞退4)
- インターン：夏をメインに約10社(1～3daysが多い)
- 修士1年(学部の方であれば3年に該当)のスケジュール
(多くの企業にインターン経由の早期選考で参加)

3月

4月

5月

6月

7月

8月

【行動】

合同説明会参加

夏インターン選考

夏インターン

【思考】

各業界の研究をし、軸を決める

業界を絞る、企業研究

9月

10月

11月

12月

1月

2月

【行動】

夏インターン

早期選考開始

1～2次試験

最終面接

【思考】

競合他社を含めた企業研究

- キャリアセンターの利用
 - ・ エントリーシート添削や、面接練習
 - ・ 先輩にお話を聞く

- 悩んだこと、苦労したこと
 - ・ 就活軸の決定
 - ➡ 勤務地？福利厚生？お給料？会社規模？業務内容？
 - ・ 勤務地の決定（地元広島で就職か県外で就職か）
 - ➡ 広島を出てみたい気持ちと、離れたくない気持ち
 - ・ 自分でした決断も、周りの話を聞くと「本当にこれでいいのか」と自身が無くなる
 - ➡ 私も、周囲の同期も、いわゆる「内定ブルー」のような雰囲気

- 感じたこと
 - ・ 大学院生は研究活動を通じた経験をアピールできるので、「言う事がない！」になりづらい
 - ・ いろんな方に話を聞いて・聞かせていただいけて楽しかった